

意見対応一覧(パブリックコメント)		資料 2
【対応内訳】		

【対応1(補足修正)】 ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの	【対応4(事業参考)】 素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事として
【対応2(既記載)】 既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの	今後の参考とするもの
【対応3(説明・理解)】 市としての考えを説明し、ご理解いただくもの	【対応5(その他)】 素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの

	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
1	基本的考え方 P1	(1)策定の経緯 小生は第1期の当該戦略へのパブリックコメントを平成28年3月1日に提案し、貴課より3月17日にパブリシティでの結果報告がありました。その市民への丁寧な回答の中には(参考にします)と多々あったが、第2期案への反映が不明である。パブリックコメントの制度の趣旨から、一般市民の意見や提案には経過報告をするのが行政の務めだと考える。特に、熊本地震からの創造的復興に勤しむ市民へ失礼にならないようにお願いしたい。	第1期総合戦略策定の際のパブリックコメントでいただいたご意見につきましては、第1期総合戦略の策定委員会において共有させていただくとともに、各部署での事業実施段階で参考とさせていただきます。 また、総合戦略に位置付けた各事業については、有識者からなる「熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略」を組織して事業の評価・検証を行っておりますので、当委員会での審議内容の熊本市ホームページでの公表をもって経過報告とさせていただきます。	対応3 (説明・理解)
2	基本的考え方 P1	(2)位置づけ 非日常ではなく、市民が日常的に活動できる位置づけであることを明確に宣言して頂きたい。	(2)位置づけは、他の計画等との関連性を記載しております。	対応3 (説明・理解)
3	基本的考え方 P2	(3)基本理念 地域活性化、連携、協調、県を牽引するのが基本理念とあるが、(地域住民の主体性を尊重し、行政と一体で地域の活性化を図り、必要に応じて他の自治体と連携、協調し、政令都市としての役割を十分に努める。)が一般市民としては理解しやすい。	ご指摘いただいた内容は、表現は異なりますが同様の趣旨で記載しております。	対応2 (既記載)
4	基本的考え方 P2	(4)戦略の方向性 しごとに力点とありますが、一般市民に理解しやすく次に述べますので方向性に追加して頂きたい。それは、かつての近江商人の教えにあるように、(商いは賑わいに宿り、賑わいは商いを産む)そのものであり、仕事(商い)は賑わい(社会、街づくり)と関係が深く、賑わいが無いと仕事(商い)も生まれないことである。そして、この近江商人の教えは仕事に力点を置くことが人を豊かにし、街づくりに寄与することである。	ご指摘いただいた内容は、「仕事づくりに力点を置く」という点で、表現は異なりますが同様の趣旨で記載しております。	対応2 (既記載)

意見対応一覧(パブリックコメント)		資料 2
【対応内訳】		

【対応1(補足修正)】 ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの	【対応4(事業参考)】 素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事として
【対応2(既記載)】 既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの	今後の参考とするもの
【対応3(説明・理解)】 市としての考えを説明し、ご理解いただくもの	【対応5(その他)】 素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの

	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
5	基本的考え方 P3	(5)熊本地震の影響について 熊本地震から4年目となり,市の創造的復興の経過と総括もお願いしたい。	本総合戦略は、熊本地震からの復旧・復興の経過や総括を踏まえて策定しております。具体的な復旧・復興状況や最新の取組等については、熊本市のホームページにおいて情報を発信しております。 ※熊本市HP「「熊本の今～復興に向けた取組の状況～」」 https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=19690	対応3 (説明・理解)
6	基本的考え方 P3	(6)持続可能な開発目標(SDGs)の推進について 素晴らしい構想であり,市民向けの経過報告を定期的をお願いしたい。	本総合戦略の経過報告については、熊本市HPで情報発信してまいります。 なお、SDGsに関する取組については、今後も熊本市のホームページにおいて発信してまいります。 ※熊本市HP「熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会について」 https://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=24969&class_set_id=2&class_id=2276 ※熊本市HP「SDGs(持続可能な開発目標)への取り組み」 http://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=19658&class_set_id=2&class_id=246	対応5 (その他)
7	基本戦略 p7	「ノリ養殖スケジュールの見直しなどを実施」はすでに実施されている。 →しかも、スケジュールを見直しただけでは、漁期が短くなるだけで、なんの解決にもならないと思われます。熊本市にあった「高水温耐性海苔」等の品種改良を推進すべきでしょう。	ノリ養殖スケジュールの見直しについては、気象海況に応じた最適な養殖を実施するために継続的に取り組んでいるところです。 品種改良については、関係機関が実施している「高水温耐性品種」育成試験等との連携による推進に取り組んでおります。今後の検討に際しては、ご意見を参考にさせていただきます。	対応4 (事業参考)
8	基本戦略 p9	「水前寺江津湖一帯の魅力」が活かされていないようです。 →江津湖を周回するサイクリングロードや、ランニングできる専用道路を造成してはいいかでしょうか。 →また、隣接している「動植物園」との一体化が図られておらず、魅力を引き立てあっていない感があります。	現在、策定を進めている「水前寺江津湖公園利活用・保全計画」に記載のとおり、回遊性向上を図る遊歩道の整備を行うとともに、動植物園との一体化を行い、さらなる魅力の向上を図っていくこととしています。検討に際しては、ご意見を参考にさせていただきます。	対応4 (事業参考)

意見対応一覧(パブリックコメント)				資料 2
【対応内訳】				
【対応1(補足修正)】 ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの		【対応4(事業参考)】 素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事として		
【対応2(既記載)】 既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの		今後の参考とするもの		
【対応3(説明・理解)】 市としての考えを説明し、ご理解いただくもの		【対応5(その他)】 素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの		
	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
9	基本戦略 p17	「障がいのある人の雇用に関する企業意識の高揚を図り」 →自分も障害者(精神)ですが、そのような企業が身近にある実感がありません。面接時に正直に話すと、むしろマイナス要因となるのではないかと恐怖を感じます。 →また、仮に、就労できても「賃金レベル」が低すぎて(高くても7万円程度)であり、家族が生活できる収入には、低いです。 恐らく重度の障害者の仕事が想定しており、軽度の障害者が存分に働くことができ、より高収入が得られる仕組みを考えてほしい。	熊本市障害者就業・生活支援センターでは、障がいのある方に対する就職支援、定着支援などの業務を行っています。 企業に対しては、障がい者雇用に対する理解を促進するため、障がい者雇用に関する制度や具体的な配慮の方法などについて啓発を行い、障がい者雇用に取り組む企業の開拓に努めています。 いただいたご意見を参考に、引き続きこのような取組みを推進し、障がいのある方の就労支援体制の充実を図ってまいります。	対応4 (事業参考)
10	リーディングプロジェクト p19	< I (戦略に基づく文化・交流の活性化によるくまもと創生)プロジェクト> 魅力ある歴史・文化とあるが、国内外の多極間での古代からのゆかりの相互研究をお願いしたい。 水前寺成趣苑の名称は、中国古代の詩人である陶淵明の漢詩に由来している。 そのことを両国で学術研究をして、定期的にMICEなどで国際会議を行うなど、熊本の歴史文化の質を向上して頂きたい。 そうすることで、おのずと交流人口も観光も活性化し、ひいては商いと賑わいも生まれる。 その他にも熊本との縁は多数存在する。	ご意見のとおり、本市には国内外の都市と様々な縁を持つ文化財が存在しています。本市としては、このような縁を活用しながら、広く周知・広報することで市民に対する啓発に努めてまいります。	対応3 (説明・理解)
11	リーディングプロジェクト p20	「熊本城、水前寺成趣園」は納得いきます →他に、「江津湖」や「動植物園」は候補として入らないのでしょうか。	今回は外国人観光客誘致・受入環境強化という施策のため、すでに多くの外国人の方にご訪問いただいている「熊本城」及び「水前寺成趣園」を「国際観光重点地域」として位置付け、さらなる充実を図りたいと考えています。 なお、「水前寺成趣園」や「動植物園」を含む水前寺江津湖公園一帯については、令和元年度中に水前寺江津湖公園利活用・保全計画を策定し、一体的な利活用・保全に取り組んでいくこととしています。	対応3 (説明・理解)

意見対応一覧(パブリックコメント)		資料 2
【対応内訳】		

【対応1(補足修正)】 ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの	【対応4(事業参考)】 素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事として
【対応2(既記載)】 既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの	今後の参考とするもの
【対応3(説明・理解)】 市としての考えを説明し、ご理解いただくもの	【対応5(その他)】 素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの

	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
12	リーディングプロジェクト p22	<Ⅱ「農水産業の振興によるくまもと創生」プロジェクト> 農業関連は 1)里山の復活で獣被害の防止, 2)ジビエ料理への転用(梅花鍋,牡丹鍋として地域特産へ) 3)耕作放棄地を整地し,処分 4)空き家を地域のコミュニティ基点とする。 5)水路の整備でふるさとの復活。 水産関連は, 1)養殖の推進, 2)干潟の活性, 3)海流と海水の把握と分析 4)河口の浚渫 5)放置船の処理 以上を(今そこにある危機)とし,テーマを絞って対応して頂きたい。	ご提案のあった鳥獣害対策、耕作放棄地対策、海洋環境の変化への対応などについては市としても重要な課題として認識しており、本市の基幹産業である農水産業の振興に向け、実効性の高い施策を検討し、取り組んでまいります。	対応3 (説明・理解)
13	リーディングプロジェクト p23	「スマート農業の推進」に併せて、「スマート水産の推進」を考えるべき。 →海苔養殖は海中の二酸化炭素を積極的に吸収し、収穫する漁業です。もっと支援の強化はできませんか。	ご提案のあった「スマート水産」については、IoTブイを活用した海況情報のリアルタイムでの漁業者及び関係機関への提供などに取り組んでいるところです。 今後の検討に際しては、ご意見を参考にさせていただきます。	対応4 (事業参考)
14	リーディングプロジェクト p25	<Ⅲ「持続可能な医療、福祉とコミュニティによるくまもと創生」プロジェクト> 少子高齢化社会では下記は緊急を要し,街づくりの原点と考えます。 1)社会教育を含めて子供は国の宝の熊本。 2)結婚に希望が持てる熊本。 3)安心して出産して,子育てができる熊本。 4)育休が男女とも,気兼ねなく取得できる熊本。 5)一人住まい高齢者のコミュニティ強化と民生委員が活躍する熊本。 このような社会にしたのは,我々高齢者にも一因がある。上記の政策実現には高齢者自身の協力を不可欠とし, その為の施策も提唱して頂きたい。	ご指摘いただいた項目は、どれも緊急の課題であり、総合戦略の中でも施策として掲げているところです。 また、この政策実現については、ご指摘のとおり高齢者自身の協力が不可欠です。 そのため、高齢者の今までの経験を生かした社会参加の促進を目指しており、リーディングプロジェクトの概要(P25)に「多彩な生涯学習の提供・創造や住民一人ひとりの経験・能力を地域に還元する仕組みづくり」として記載しているところです。	対応2 (既記載)

【対応1(補足修正)】	ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの	【対応4(事業参考)】	素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事として
【対応2(既記載)】	既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの		今後の参考とするもの
【対応3(説明・理解)】	市としての考えを説明し、ご理解いただくもの	【対応5(その他)】	素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの

	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
15	リーディングプロジェクト p28	＜Ⅳ「創業支援と地場企業の強化によるくまもと創生」プロジェクト＞ 現在の熊本には、博物館や美術館、伝統工芸館、図書館などの文化、芸術関連の公共施設は存在するが、中心となる産業歴史館が無い。 それ故、創業支援や地場企業の強化には、情報が不足し、各企業が自前で収集できるが、中小は困難である。 その結果、他都市に遅れをとり、他社に敗北したり、人材不足、継承不可の企業が多くなり、熊本は衰退する恐れがある。 早急に、大学等と共同で市立の産業技術&歴史センターを(花畑ビル跡など)に設立し、課題を一元的に開発、指導、管理するシステムを構築し、歴史に学んでほしい。 桜町や熊本駅の再開発はこれからの賑わいは評価できるが、将来の素晴らしい熊本へ、さらに投資すべきである。 その仕組みは、現行の県の産業技術センター、テクノポリス、南熊本のインキュ.センター、森都心ビルの支援センター各専門学校、各大学などを電子情報化やAIを活用連携し、その中核が、産業技術歴史センターとする。 また、センターには人材開発部門、雇用開発部門、留学生部門、Uターン部門、研究部門、開発部門、市場部門起業部門、創業部門、育成部門、承継部門、経営部門、資金部門、会計部門、次世代通信部門、人工知能部門、スマートシティ部門等を中心に組織化する。	ご指摘のとおり創業支援や地場企業の強化のための情報提供は行政として支援が必要であり、森都心プラザ内のビジネス支援センターで引き続き取り組んでいくとともに、今後は、センターのさらなる機能強化についても検討を進めていくところです。 また、行政だけではなく、くまもと大学連携インキュベータ、熊本県信用保証協会、熊本県・商工会議所など関係団体と連携して事業承継支援等の取組を実施してまいります。	対応2 (既記載)
16	リーディングプロジェクト p30	「女性や高齢者など」での表記が弱い。 →「障害者」の言葉を具体的に入れてもらいたい。	「女性、高齢者、障がいのある人など」に修正いたします。	対応1 (補足修正)
17	その他	「Society5.0」「SDGs」「人口ビジョン」「ICTやAI」「MICE」等の単語が、いきなり登場し、意味がわからない。 →この「素案」を読む、大人(高齢者を含む)や中学生等でも理解できる単語をつかうべき。 →巻末やページの欄外に注釈をまとめてはいかがでしょうか。後半部分では注釈があるようです。	注釈については、欄外へ掲載いたします。	対応1 (補足修正)

意見対応一覧(パブリックコメント)	資料 2
-------------------	------

【対応内訳】

【対応1(補足修正)】 ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの	【対応4(事業参考)】 素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事として
【対応2(既記載)】 既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの	今後の参考とするもの
【対応3(説明・理解)】 市としての考えを説明し、ご理解いただくもの	【対応5(その他)】 素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの

	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
18	その他	「平成28(2016)年4 月」「平成28 年10 月」「H29(2017)年」の表記が混在していて見難いです。 →統一した表記にしませんか。	下記のとおり表記を統一します。 例)平成28(2016)年4月	対応1 (補足修正)
19	その他	「犯罪経験者」が刑期等を終え、社会復帰がスムーズに出来る仕組みを具体的に考えてほしい。	ご提案頂きました「社会復帰がスムーズに出来る仕組」については、法務省の再犯防止推進モデル事業の採択を受け、就労に関しては、専門求人誌の発行や、協力雇用主等との面談会等を実施しております。 また、現在、就労だけでなく、住まいの確保や福祉的支援などの市の具体的な施策として位置付ける「熊本市再犯防止推進計画」の策定に向けて取り組んでおり、いただいたご意見を参考に検討を進めてまいります。	対応4 (事業参考)
20	その他	沿岸漁業の活性化、観光市場の創設、美術・陶工芸文化の拠点づくり、街美観の追求などの施策展開	各事業の実施にあたって、いただいたご意見を参考に組みさせていただきます。	対応4 (事業参考)
21	その他	総合戦略の素案に付いては、審議会委員の皆様をお願い致しますが、説明会に参加して、驚いたのは参加者の少なかった事で、説明を頂いた皆様に対して、大変申し訳ない思いです。今後の説明会では案内の方法を検討頂ければと思いました。	まちづくりセンターをとおして校区自治協議会への事前周知を行うなど、広く周知をする工夫をしていきます。 また、開催日時や場所についても、より多くご参加できるよう検討をしていきます。	対応5 (その他)